

災害安全（震災）小学校 第2学年 防災教育年間指導計画（例）－生活科を中心に－

〇〇小学校 安全教育目標

安全な生活を営むのに必要なことから理解し、安全な行動ができる習慣を身に付けさせるとともに、他の人々の安全にも気配りできる児童の育成。

防災教育目標 第2学年（災害安全）

校区の津波避難場所がわかり、どこにいても自分で判断して避難することができる。

各教科

国語科

- 【図書館へ行こう 4月】
 - ・防災に関する本に触れる。
- 【言い伝えられているお話を知ろう 7月】
 - ・かつて〇〇村で起きた自然災害についての話を聞く。
- 【どんな本を読んだかな 12月】
 - ・これまでに読んだ防災に関する本を紹介し合う。

図画工作科

- 【自分の町を描こう 6月】
 - ・町探検をしたことをもとに、自分の好きな町を描く。（生活科との関連）

生活科

単元名 校区探検に行こう ～地震や津波から自分を守ろう～（2学期：25時間）

単元目標 地震が起きたときの、危険を予測し、回避する行動を取ることができる。

地震が起こったとき、どんなことが起こるのかを考えさせ、校内ではどんなところが危険になるかを予想させる。「地震から自分たちを守る」ためには、危険なところを知ることが大切であることを意識させながら、校内を探検し、危険なところを調べる活動をする。次に、見つけたところが、なぜ危ないのかを考え、危険なことを「上から落ちてくる危険」「倒れてくる危険」「ものが移動してくる危険」でまとめる。

【知る】9月（10時間）

- 地震が起きたときの様子をDVDで観て、どんなことが起こるか考える。
- 地震が起こったとき、校内で危険なところを予想し、探検をする計画を立てる。
- 校内を探検し、危険なところを見つける。
- 見つけた危険なところが、なぜ、危険なのかを考える。
- なぜ、危険なのかを、クラスの人と伝え合い、危険なことをまとめる。

【やってみる・見つける】10月（9時間）

- 見つけたことについて、実際にどうなるのか確認をする。
- わかったこと・考えたこと、気がついたことをまとめる。
- 危険なことについて発表の準備をする。
- 発表する。
- 見つけたことを振り返り、どう自分たちを守るのか考える。

【深める・まとめ・発信】12月（6時間）

- 他の場所にいるとき地震が起こったらどのようにして自分たちを守るのかを考える。
 - ・通学路では ・家では ・外で遊んでいるときは
- これまでの学習を模造紙にまとめ、地震が発生したとき、自分達がどのようなことに気をつけるのかをまとめる。

特別活動

学級活動

【津波から身を守るには？】5月
津波は速く、繰り返しくるなどの特性を理解し、急いで高い所へ避難することを知る。（高知県安全教育プログラム）

【揺れがおさまっても...まだ続く危険とは？】6月
・大きな揺れの後の火災からの避難について考える。（高知県安全教育プログラム）

●【防災ポスターを作ろう】8～9月
・地震・津波に気をつける啓発ポスターを考え、作る。（生活科と関連）

●【地域の津波避難場所を確かめよう】10月
・登下校中に一人である時に地震が発生した場合の行動を考える。（高知県安全教育プログラム）

●【自分の命を守ろう】11月
・どこにいても自分で判断して安全な避難行動をとることができる。

●【避難生活ってどんなもの？】1月
・避難生活での不便さに気付き、自分のできる事を考える。（高知県安全教育プログラム）

学校行事

【1学期】

- 避難訓練【地震津波を想定した訓練】 ●心肺蘇生法講習会
- 新体力テスト ●避難訓練【休み時間】 ●生活委員会による報告（学校生活）

【2学期】

- 避難訓練【シェイクアウト参加】 ●校区防災訓練参加【高台避難：津波防災の日】 ●避難訓練【火災時】
- 宿泊学習【地震津波訓練】 ●運動会 ●避難訓練【下校時】 ●生活・保健委員会の取組報告（地震・感染症）

【3学期】

- 避難訓練【掃除中】 ●生活委員会による取組の報告（津波）
- 6年生による総合的な学習の時間のまとめの報告